

# 魔法の種 プロジェクト 活動報告書

報告者氏名: 日置節子

所属: 大阪府立寝屋川支援学校

記録日: 平成29年 2月 9日

キーワード: 見通し コミュニケーション 動画・写真 環境づくり

## 【対象児の情報】

・学年 小学部5年生

・障害名 知的障害を伴う自閉症スペクトラム

### ・障害と困難の内容

- ・発語は喃語程度。要求を伝えるときは主に手引きをする。
- ・獲得している自発的なサインは、両手を合わせて要求を伝えるもので、ブランコを揺らして欲しいときなど決まった場面で使うことができる。
- ・初めての場所や以前に嫌なイメージを持った事柄に対して不安が強く、座り込んで動けなくなったりその場を離れたがったりする。
- ・太田ステージ I-3

### 困難

○見通しを持つための、イメージの獲得手段が限られている。

○好きな物、行きたい場所などを発信したり、他者が汲み取って理解したりするための手段が限られている。

## 【活動目的】

### ・当初のねらい

- ①動画（画像・音声）から行き先にあるもの、これからしようとするものを、よりはっきりとイメージすることができる。
- ②自分の生活に関わる動画や好きなビデオを増やすことで、画像や写真から獲得できるイメージを広げる。
- ③動画や写真を見比べてやりたいことを選び、伝えることができる。

・実施期間 平成28年5月 ～ 平成29年2月

・実施者 日置節子

・実施者と対象児の関係 クラス担任

## 【活動内容と対象児の変化】

### ・対象児の事前の状況

<活動への見通しについて>

具体物（紅白帽子、運動靴など）を見たり手に取ったりすることで、おぼろげに次の活動がイメージできていると思われるが、スケジュールや活動場所を示すための写真やイラストなどのシンボルから、情報を獲得することが難しい。

<シンボルの理解について>

具体物を2種提示すると、好むものに手を伸ばして取ることができる。同じものを写真カードに置き換えて2種提示すると選択することが難しい。写真シンボルから情報を獲得したり、好むものを選んだりすることが難しい。

<iPad との関わりについて>

iPad 中の歌ビデオを再生して欲しいときに、担任に手渡ししようとする。タップはあやふやで、意図せず画面を触ってしまうことが多い。

### ・活動の具体的内容

使用アプリ

①写真

②カメラ

③iMovie



◎次の活動や活動場所を動画で理解するために

- ・よく行く教室を象徴すると思われる動画、不安を感じると予想される取り組みを動画撮影し、事前に担任が見せる。
- ・動画にはその場でよく聞く音楽や生活音を含ませる。動画の長さは10～30秒程、撮影視点は児童の目線にする。

### 《 活動の内容と児童の様子 》

動画で示す活動や活動場所	動画の内容	実施した時間	児童の様子	その他のエピソード
音楽室	ピアノ演奏	移動前 5～6月週1回程度	・教室に入っすぐにピアノに向かうことがあった	・ピアノへの興味が増し、担任に演奏を要求することが増えた
トランポリン	本児の遊び	移動前 5～7月週1,2回程度	・動画を消そうとすることが多かった	・決まったカゴを担任に渡すことで、トランポリンに行きたいことを伝えている（9月）
プール	大勢のプール活動	プール前日または当日 6～7月週1回程度	・画面を見ていた	・初回はプールにむかうのが不安気だった 2回目からは解消した

\* 動画の撮影者、提示者はすべて担任

◎好きな歌を複数のシンボルから選んで再生するために

- ・授業で繰り返し歌ビデオを見ながら活動する。
- ・興味を持った歌ビデオを写真アプリのアルバムにまとめ、いつでも手に取れる場所に置いておく。
- ・再生を求めてきたら、人さし指タップの方法を示す。
- ・担任と一緒に歌ビデオを楽しむ時間を確保する。

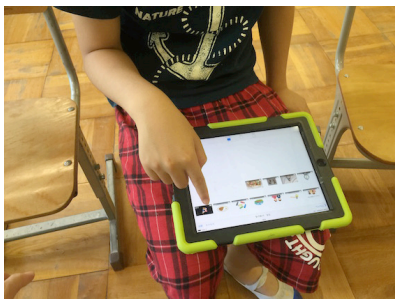


【写真】iPad を取りに行く様子

(5～6月) 歌ビデオを再生して欲しい要求を、iPad を手渡しすることで盛んに伝えた。

まだ再生がおぼつかず、担任の手を手引きしながら自分が好む歌が流れるまでタップを促した。

(7月) 人さし指でのタップができるようになり、自分の好きな歌ビデオを再生できるようになってきた。

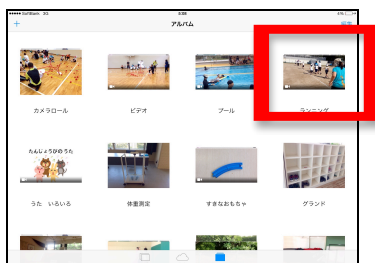


写真】11種の歌ビデオのトップ画面から、「カレーライスのうた」を選び(左)、人さし指タップで再生する(右)

・対象児の事後の変化

◎興味を持って見る動画が増え、自分で繰り返し視聴する

(9月～) 歌ビデオ以外の動画に興味を持つようになった。グラウンドを走る自分や友達の様子が映った動画、校外学習で乗ったモノレールの車中からの風景動画、上記した表にある動画などを再生し、見入る様子が見られるようになった。再生したい動画を選ぶ際は、動画のトップ画面の静止画から見たい画像を選択した。



【写真】ランニング前に担任が見せたランニングの動画を繰り返し視聴する



◎写真や画像を見分け、指さしする

(10月) 散歩の前に道順を動画で確かめた。テレビに提示される動画を少し離れた場所から食い入るように見た。

また、廊下掲示の写真にも興味を持ち、指さしをした。

(1月) 担任と一緒に、好む場所、好まない場所の2種の写真カードから、「1種を指さしてから遊ぶ」という取り組みをした。次第に自ら好む部屋の写真を探すことが増えた。



【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

- ・画像（動画・写真）を理解する力が高まり、示された場所へ向かおうとしたり、自分の思いと違うことに怒ったりしたりしたのではないか。
- ・動画や画像が「知る手段」として機能するようになってきたのではないか。

・エビデンス

< 12月から2月の児童の様子 >

活動内容	画像の内容	画像視聴後の行動の様子
体重計測	・体重計に乗って静止し合図音が鳴るまでの動画（担任モデル）	保健室までの移動で不安を見せながらも、担任が提示する動画を繰り返し視聴 <b>自ら保健室に入り体重計に乗る</b>
グラウンドへの移動	・グラウンドの写真カード ・グラウンドランニングの動画	グラウンドや中庭の写真カードをしばらく見つめる 加えて帽子を手渡される <b>①自ら靴を履き替えてグラウンドに向かう</b> <b>②怒った表情で声を上げ、その後好きな場所（中庭）に移動しようとする</b>
私鉄バス乗車（校外学習）	・バスの写真（乗車前） ・バス座席から見える、フロントガラス越しの風景動画	スムーズにバスに乗車する バス発車後、フロントガラス越しの動画と実際に見えているフロントガラスへ <b>視線を度々移しながら動画を視聴</b>

・その他のエピソード

- ・よく行く遊戯室や中庭の写真カードを探し出して、担任に手渡そうとする様子が見られるようになった。
- ・食べたい食べ物の写真カード2種を見て、片方を指さしする様子が見られた。

写真カードを指さしたり、担任に渡したりして、伝える手段として使おうとするようになってきた。